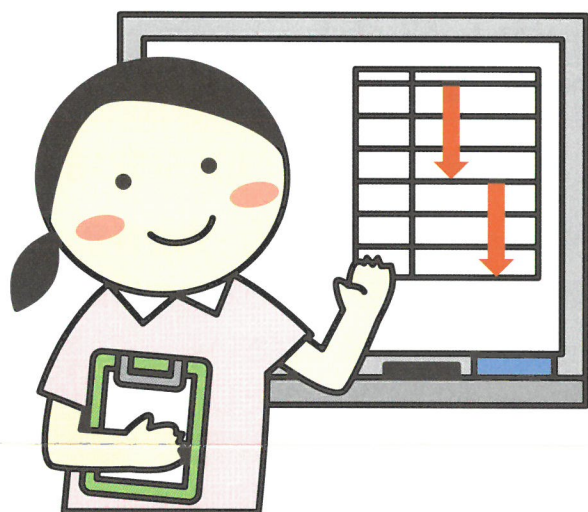


外国人介護職員の 指導担当者向け研修

特徴・目的

- ✓ 1日6時間で完結の集中研修
- ✓ 介護サービスの向上
- ✓ ヒヤリハットの回避
- ✓ 指導担当者のスキルアップ



講師

早稲田大学大学院日本語教育研究科
宮崎里司 教授 他

宮崎里司（ミヤザキサトシ）
早稲田大学大学院日本語教育研究科教授
モナシュ大学日本研究科応用言語学博士（Ph. D）
ベトナム日越大学日本語教育プログラム総括（JICA）
日越大学は、日本政府や JICA（国際協力機構）と共に、日本語教育の幹事校である早稲田大学をはじめ、東京大学や大阪大学などが、ベトナム国家大学ハノイ校と協力し、グローバルに活躍する人材の育成を目的に設立されました。

いま介護施設等で就労する外国人が増加しており、介護力養成が喫緊の課題となっています。とりわけ、外国人介護従事者にとって、介護コミュニケーションをはじめとした介護日本語を学ぶことは、ヒヤリハットの回避をはじめとするリスクヘッジにもつながり、利用者への介護サービスの向上にもつながる重要な項目と考えられます。本講座では、外国人介護就労者を雇用している、また雇用を検討している施設関係者向けに集中研修を実施します。外国人とのよりスムーズな協同従事が果たせるよう、指導者が留意すべき課題を認識してもらうことを目的としています。

日時

2019年

A日程

7/26 (金)

または

B日程

7/27 (土)

9:30 ~ 16:30 (A・B日程共通)

対象

介護施設で外国人介護就労者の指導に携わっている・携わる予定の方

受講料

12,000円 (税・資料代込)

定員

30名 ※最少催行人数 10名

研修内容

I (9:30~10:30)	「日本での外国人介護就労者の受け入れと海外の外国人介護就労者事情」 ○外国人介護就労者の在留資格 ○日本と東アジア・東南アジアとの介護観の違い など
II・III (10:35~12:40)	「介護日本語1&2」 ○利用者とのコミュニケーション、申し送り、介護記録（読み方・入力）、非言語コミュニケーションの理解 など ○職員間で使われる符丁や専門用語の分かりやすい言い換え など ○声かけ場面（行動）に沿った語彙表現の指導 ○日誌・記録の記載、E-mailなどのパソコンスキル
昼休憩（40分）	
IV (13:20~14:20)	「生活習慣および社会適応」 ○日本の生活習慣の指導（衣・食・住、手紙の書き方、SNS など） ○日本事情（季節、年中行事、日本人の食生活など）
V (14:25~15:25)	「介護現場での介護日本語力の評価方法」 ○JLPT（日本語能力試験）とは異なる、介護場面での日本語能力評価の目的 ○ワセダバンドスケールを用いた、評価判定実践
VI (15:30~16:30)	「日本語能力試験（JLPT）と自律学習」 ○自律学習能力習得のための学習計画の立て方、実行、評価方法

※講義（I～VI）の順番は入れ替わることがあります。

ワセダバンドスケールとは

介護現場において、外国人介護職が専門職として業務を遂行するために必要な日本語能力を測定するために、特別に開発された「日本語能力測定基準」です。現在の日本語能力を把握して、次の目標に到達するための具体的な学習方法を示すことができます。



修了書

すべての時限を受講された方には修了書を発行いたします。

お問い合わせ



学校法人川口学園
早稲田速記医療福祉専門学校
 〒171-8543 東京都豊島区高田3-11-17
 ☎ 03-3208-8461 (代表)

お申し込み

申込期間 6/25 (火) ~ 7/18 (木)

メールに必要事項（氏名・郵便番号・住所・電話番号・所属先・A日程またはB日程）を記入の上送信してください。
 確認後詳細をご案内いたします。



✉ shikaku-kouza@wasedasokki.jp

